

事件1 「殺人鬼の醜聞」

1

「……く。わからん」

ぶ厚い医学書を親の敵の如くならみつけながら、コナン・ワトソンは小さく唸った。

ロンドン大学、図書室。先ほど受けた講義の疑問を解消しようと駆け込んで、早一時間が経過した。占領した机の上には専門書の山が積み上がっているが、出た結論は無情にも「わからない」だった。

「薬品の名前というのは、どうしてこう揃いも揃って、複雑怪奇なものばかりなんだ……いや、合理的な法則性に基づいてはいるんだろうが……」

親指と人差し指で眉間をつまみながら、コナンは悲痛な面持ちで左右に首を振る。

椅子に座っていても姿勢が良く、背筋など鉄の板でも張り付いていかのように真っ直ぐだ。

鋭い目つきはいかにも厳格そうであり、そうやって苦い顔をしていると、まるで世の不正と腐敗を憂える青年将校のように見える。実体は、講義内容がわからずに頭を抱える医学生なのだが。

コナンは顰め面のまま腕を組んだ。

すると、

「あ、いたいた、ワトソン。やっぱり、ここか」

「また本積んで唸ってるよ。お前、頭良さそうなのに頭悪いよな」

声をかけてきたのは、同じ医学部の同級生たちだ。さらっと無礼な発言があったが、コナンはピクリと片眉を動かしただけで反論はしなかった。自分の成績が芳しくないのも、そのくせ妙に優等生に間違われるのも――残念ながら――事実なのだ。

せいぜいギロリとならみつけつつ、

「何の用だ？」

すると、同級生の一人が机の側に歩みよった。

手にしていた新聞を机に広げる。

『またしても^{ブロード}ジャック・ザ・ナイトメア』の犯行か？ 次なる犠牲者は、うら若き金髪女性！』

見出しを目にした時点で、コナンはうんざりのため息を吐いた。

医学を志す若人たちが集う知識の殿堂――と言えば聞こえはいいが、生徒は皆、十代から二

十代の若者たちだ。知識欲と好奇心に満ちた学友たちは、コナンにニヤニヤと笑いかける。

「どうするんだよ、ワトソン。また新しい被害者が出たぞ？」

「例の相棒は何してるんだ？ これじゃ面目丸つぶれだろ？」

聞き慣れた揶揄には、もはやため息も出ない。それでも無視せず律儀に反応してしまうのが、コナンの長所であり弱点だろう。

『彼』のことなら、何度も説明したはずだ」

「けど、《ストランド・ニュース》のコラムじゃあ、いつも大活躍じゃないか」

「そうそう。『名探偵』なんだろう？ 君のルームシェアの相手は」

コナンは結局もう一度ため息を落とすと、新聞を手に取りながら椅子を鳴らして立ち上がる。

「いいか？ 『彼』は『名探偵』じゃないし、そもそも『探偵』でもなんでもない。本人に言わせれば『発明家』で、俺に言わせれば、ただの『変わり者』だ。当然、巷を騒がす殺人鬼なんかと関わる予定は、これっぽっちも、ない」

*

前世紀末、フランスに端を発した市民革命は、欧州全域を巻き込み、長年続いた王侯貴族による支配体制を崩壊させた。これを紀元とするのが、革命暦だ。

革命の気運はイギリスにも及ぶ。時のイングランド王国女王エリザベス三世は、ナポレオン・ボナパルトによる侵攻を受けた際、親ナポレオン派の市民軍に捕らわれ、王政廃止を迫られた。世に言う「エディンバラの屈辱」である。

ただ、このときエリザベス三世は、リカルド・ヴァン・ブリタニアの尽力により、辛うじて難を逃れる。そして、「ワシントンの乱」失敗後さらなる植民地化が進んでいたアメリカへ渡り、かの新大陸に遷都したのだった。

その後、エリザベス三世が死去しテューダー朝が途絶えた際、後継者となったりリカルド・ヴァン・ブリタニアは、帝政を施行。国名を「神聖ブリタニア帝国」と改め、自ら初代皇帝となる。

一方欧州では、ワテローで敗北したナポレオンが、帰国途上で急死。各国は混乱の中、共和制による民主国家へと生まれ変わる。イギリスもまた、イギリス共和国として再生し、議会制民主主義国となって新たな道を踏み出した。

以来、百年。

気高い情熱に支えられた市民革命の理念は、時と共に衰退し、腐敗し、幻滅と利己主義に取って代わられつつあった。しかし、何もかもが水泡に帰したわけではない。着実に国力を増す

神聖ブリタニア帝国に対抗すべく、イギリスはいまなお、成長を続けている。資本主義の経済体制は産業の発展を加速させ、増大した産業は大衆社会を向上させた。貴族制時代にはなかった新たな格差を生じさせつつも、国家として前進を続けているのだ。現に、首都の人口はすでに四百万を優に超え、さらに肥大し続けていた。

自由と権利を得た民衆が集う、大都市ロンドン。

その意志と思想、情動の坩堝は、日々無数の欲望を育み、数えきれぬ罪を吐き出し続けている。

時に、革命暦九九年、皇歴一八八八年、冬。

多くの因縁を束ねる巨大な欲望は、いままた、新たな罪を産み落とそうとしていた。

*